

同窓会だより



題字は故後藤淳・名古屋電気学園学園長・総長

発行 愛知工業大学名電高等学校同窓会
〒464-8540 名古屋市千種区若水3-2-12
TEL (052) 721-0311 (代表)

未来ある世代との絆を大切に



永井 広明 会長
(昭和51年卒業)

春の日差しも鮮やかに緑が輝き、気候は良くなってきましたが、会員の皆様にかかれましてはご健勝にてお過ごしでしょうか。日頃の同窓会活動にご理解とご協力を頂きまして誠に感謝しております。

昨年は同窓会役員総会を3年ぶりに開催し、ご決議を頂きました。行事は昨年もほとんど中止となりましたが、学園の創立110周年を祝い、同窓会の記念事業と致しまして、運動部が使用する体育館のトレーニング機器一式と吹奏楽部が使用するティンパニなどを寄贈致しました。また、全国大会出場激励や大学入学共通テスト受験者に対しても激励を致しました。これに応え在校生は素晴らしい活躍でした。野球部が夏の甲子園に出場し、ベスト8に進みました。私も甲子園に赴き全ての試合を精一杯、応援致しました。卓球部はインターハイ6連覇で今年も大活躍、卒業生も世界大会などで活躍中です。バレー部は春高出場。吹奏楽部は8年ぶりに全国大会金賞を獲得、会場で聴いた演奏は本当に素晴らしく、感動ものでした。他の部もこのコロナ禍においても活躍していますが、なかには大会前にコロナ感染が判明し出場辞退になり、悔し涙を流した部活動もありました。今年初めて「ザ・名電ショー」というイベントが開催されました。全国レベルのチャリディング部、ダンス部、吹奏楽部が、情報デザイン部の映像と共に繰り広げたパフォーマンスは、素晴らしいショーでした。

学校生活ではまだまだ活動が制約を受ける場面もあります。生徒たちは明るく頑張って学生生活を送っています。我々も生徒諸君と共に今一度、校訓の「誠実、勤勉」を心に刻み、未来ある若い世代との絆を繋いで、大切にしたいと思っております。世界に、皆様に明るい未来が訪れる事を祈念致しております。

日本の「ものづくり」を支える使命



後藤 泰之 理事長
(同窓会名誉会長)

名古屋電気学園は、令和4年の11月に学園創立110周年を迎えました。これもひとえに各設置校の同窓生の皆様のご理解とご協力によるものと心から感謝申し上げます。今後も学園全体で「ものづくり教育」を柱に、創造力と人間性を兼ね備えた優秀な人材育成に努めてまいります。

愛工大名電高校は創立以来、学習と部活動の両方に力を入れていますが、昨年は、野球部が2年連続で甲子園に出場し、41年ぶりとなる8強入りを果たし、卓球部はインターハイで6大会連続20回目の優勝を勝ち取りました。また吹奏楽部も44回目の出場となる全日本吹奏楽コンクールで金賞を獲得するなど、学園全体に活気を与えてくれました。

コロナ禍が長引いています。その中で昨年は2年ぶりに文化祭・学校祭を開催することができ、通常開催を楽しむ笑顔の輪があちこちに広がりました。また、体育祭も日本ガイシホールで開くことができ、クラス対抗リレーやダンス・パフォーマンスを行うことで、仲間との強い団結が示されました。

今後、学園を取り巻く環境は、少子化、人材ニーズの多様化など、引き続き厳しい状況ですが、それでも進化を続けていくことが求められています。同窓生の皆様にも、引き続き本学園に変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学園創立110周年を記念して「シンボルマークデザイン」

最優秀賞

愛知工業大学 情報科学部情報科学科 メディア情報専攻3年 木下 愛美さん

シンボルマークのテーマに「名古屋電気学園の魅力を見直し」とあったため、普段あまり意識して見ることがない学園章に改めて目を向け、学園章と同じ、オームの法則をモチーフにしたデザインを取り入れました。もとの形は保ちつつ、電気をイメージした雷のマークを合わせることで、現在の校風に沿った新しいデザインに仕上げられています。

理事長賞

愛知工業大学名電高等学校 情報科学科3年 渡邊悠さん

電球には110年という長い歴史をもつ名古屋電気学園の飛躍、発展と学園から輩出された社会の第一線で活躍する人たちのこれからの明るい未来を照らすという意味を、その前面にあるリボンには110周年を迎えたことへの祝福の意味を込めています。「110th-111th」は学園カラーの紫に映えるよう白文字にし、シンプルなデザインに仕上げました。

二人三脚の銀メダル！さらなる高みを目指して



インタビュー中の鍵山コーチ

は勉強と両立することが難しかったですね。国内、海外と遠征が多かったため、一か月の半分は名古屋にいないことが日常でした。そんな中でも遅れがちな勉強を取り戻せるよう、補習授業やテストを必ず受けさせてくれました。先生方には、厳しさの中にも優しさを感じる指導をしていただきました。お陰様で、卒業できましたので、本当に感謝しています。

冬季オリンピックを振り返って

彼（息子の鍵山優真選手）がベストな滑りを本番ですれば、いい順位になると思っていました。正直いけるぞとは思っていませんでした。

コーチとしての心がけ

オリンピックの個人戦でメダルを獲得すること、それは本当に大変なこととです。私は、北京大会で銀メダルを獲った今が、スタート地点と思っっています。今の技術力にさらに磨きをかけて、加点をパフォーマンスでもらえる、誰が見ても表現力や総合力、芸術的にも「素晴らしい」と思ってもらえるスケーターを目標にします。道のりは厳しいですが、彼なら目指していけると信じています。

高校時代の思い出

私は、小学生の頃からずっとフィギュアスケートに取り組んできました。名電高校は、スポーツ選手に対して、とても理解のある学校でずいぶん良くしていただきました。

高校時代は、ジュニアの活動が盛んでしたので、予選から始まって、全日本ジュニア、世界ジュニアと試合数が多く、特に秋から冬にかけて



(写真：毎日新聞社/アフロ)

北京2022オリンピック冬季競技大会で、男子シングルで銀メダルが決まった瞬間

彼がベストなパフォーマンスを発揮できるようにすること、そのためには、まず一つ一つの技術を徹底的に練習し、スキルを高めていくことです。技術の加点をどのエレメンツでも、パフォーマンス5点をもたせるように、それを曲の中でできなければ、そして試合の中で成功できないくらいには、十分な練習時間として、十分ということはないですよ。いつだって、まだまだ足りない。彼が選手生活を続けていくうえで、それはずっと続いていくことです。

精神的な部分も重要です。先進的なアメリカでは、メンタルコーチがいる選手もいますが、日本ではまだ遅れている部分です。強いメンタルで試合に臨むには、いかに練習で「自分ができる」という自信をつけ



練習前の鍵山優真選手と親子二人で撮影（中京大学アイスアリーナにて）

ていけるか、コーチとしてその手助けがどこまでできるか、それに尽きると思います。コーチと選手の関係では、本音でぶつかり合えることが良いと感じています。他人の子の場合は、気を遣うこともありませんが、親子ですからそこはストレートに語り合って、長引かせることがない。彼も「また言っただけ」という感じで、切り替えが早い様子です。あとは、家にスケートの話は持ち込まないようにして、そこは気を付けているところですね。

名電高校の関係者の方々には本当にお世話になりました。これからも応援をよろしくお願いいたします。

【文責 広報委員会】

同窓生の奮闘

食の力で地域を元気に

廣野 耕史さん

(平成14年機械科卒業)

高校時代の思い出

僕は、小学生の頃にゴルフを始めていて、名電高校からスポーツ推薦のお声をかけていただいたことが縁です。進学後は1年生から団体戦に出場していましたが、当時のゴルフ部で大変お世話になったのが、川村先生と鈴木先生でした。2年生の時に友達と遊ぶことが楽しく、練習が疎かになった時には「ゴルフやらんかったら辞めろ」と親も呼び出されて、厳しい指導を受けました。その後は、プロゴルファーになること



経営する「とんかつ比呂野」で働く廣野さん

を目標に練習に励み、お陰様で3年生になる頃には、大学推薦の話もありました。

思い出はいろいろありますが、3年生の時にガラス張りの新校舎で学んだことは印象深い出来事でした。

飲食の道へ

自分の将来を考えたとき、飲食店を経営していた両親のことに真剣に考えるようになり、料理の専門学校に進むことを決めました。その後、僕が23歳の時に父が急死し、地元に戻ってお店を継ぐことになりました。毎日必死になつて働くうち、お客様がたくさん食べに来てくれるようになり、その勢いで、うなぎ屋を出店したりと、商売が面白くなってきました。

店を継いで15年経った頃、名電高校の野球部にとんかつを差し入れることになりました。2021年の夏の愛知県大会が始まる前に、野球部OBで同級生の早川くんから相談を受けたことがきっかけです。「かつ」は「勝ち」に繋がるからというゲン担ぎで、部員、スタッフ全員にふるまいました。

すると野球部は、愛知県大会で優勝、甲子園に出場して注目を集め、TVの取材も来ま



野球部に差し入れられた、とんかつ定食

した。野球部の倉野監督には、来年もやりま

らと思えます。近年は「地域を元気にしたい」と感じるようになりました。2020年のコロナの時は、八事日赤や名大病院、かわな病院など病院関係のみなさんに1000食分寄付したこともありま

した。あの時は、医療現場を支えている人達に何かできればという、その一心でした。

今後の目標

小中学生向けの「学習塾」を春頃に始める予定です。ここは、勉強だけではなく子供達が夢を持てることを目的とした塾です。日常的に勉強ができない環境の子供や、外国籍の子供達たち

は、試験に慣れてないように感じていきます。問題の解き方が分かれば、点数はもつと取れることを実際に見てきました。地域づくりは街づくり、街は人が作ります。子供の将来に選択肢が広がる塾を目指したいですね。

【文責 広報委員会】

音楽でみんなを笑顔に

笠置 陽子さん

(平成3年普通科卒業)

中学生時代に初めて聴いた吹奏楽部定期演奏会での演奏に強烈な感動と刺激を受け「この学校以外はどこへも行かない！」と頑張つて、何とか特待生として入学した当時の名電高校は男子校。想像をはるかに超える過酷な吹奏楽漬けの高校生活の始まりでしたが、3度の全国大会や、オーストラリア遠征、甲子園での応援など、ここでしか味わえなかつただろう素晴らしい経験も沢山できました。当



ステージ衣装の笠置さん

時の体験は、今でも大変な時に自分を奮い立たせる材料となつていきます。

現在は、フルーティストと、kasagiフルート教室主宰の2つの顔でお仕事をしています。名古屋芸術大学在学中より、海外ブレイヤーとの共演、吹奏楽団でのソリスト、ミュージカルでの生バンドや和楽器とのコラボレーション、レストランやショッピングモールでのイベント、ライブハウスでの演奏など、数多くの演奏の機会に恵まれてきました。そして、kasagiフルート教室は、今年開校28



フルート教室の発表ステージでのオフショット

年を迎え、小学生からシニア世代まで様々な生徒たちと楽しく楽しくレッスンをしています。私は教える事が大好きで天職だと思っています。

これからも引き続き、マルチフルーティストとして、様々なジャンル、いろんな楽器とのコラボレーションライブを企画開催し、フルートを触ったことのない人にも、自分で奏でる楽しさや喜びを知ってもらうなど、音楽を通じて沢山の人のところが、ワクワクドキドキする瞬間を沢山作っていきたい！そしてそれを見て自分自身も幸せになれたらと思います。

さらなる目標へ

水野将司さん

(平成28年普通科スポーツコース卒業)

入学当初、自分が全国大会で試合に出場することなど夢のまた夢だと思っていました。ですが、クラスメイトの多くが全国で活躍する事を目標に部活動を励んでおり、一緒に過ごしていく中で自分も自然と全国大会で活躍する事が目標になりました。



アイシンティールマーレで活躍する水野将司さん

高校2年では、目標としていた春高バレー(全国大会)で3位という成績をおさめることができました。その春高バレー2回戦の鹿児島商業高校戦では、監督の北川先生から、相手の攻撃の分析や的確な指示に感銘を受け、改めて素晴らしい監督だと思いました。また、進路相談でも、北川先生の「人生で日本一になれることはそうあるものではないから、チャンスがあるなら掴んだ方がいい」という一言に心動かされ日本一を目指し、中央大学の進学を決めました。

大学4年生の時、チームの目指す姿などプレー以外の部分を考える時間がある中で、大学のOBの方から現在所属しているアイシンティールマーレへのスカウトを受け、試合だけではなくチーム運営、地域貢献などに携われる貴重な機会があることやチームがVリーグに参戦するなど、これから



守備の要となるミドルブロッカーとしてプレー

上を目指せるチームに自分も貢献したいと思い、この道に進みました。

チームをV1昇格に導く選手、満席の会場でプレーすることを目標として、また、中日ドラゴンズのように地域に根付き愛され、名前を聞けば誰でも知っているV1リーグで奮闘するチームを目指していきたいと思っています。

サッカーにかけける夢

山下真歩さん

(平成29年科学技術科卒業)

高校では3年間ダンス同好会(現ダンス部)に所属して、2年生の後半からはキャプテンを務めさせていただきました。3年生の時に出場した高校ダンス部選手権では、東海予選を突破

し、目標としていた全国大会の出場を決め、また全国大会では初のストリートダンス賞という特別賞を受賞しました。

ダンス同好会を引退後は、小さい頃からの夢だった、「サッカーに携わる仕事をしたい」という思いから、サッカー部監督の宮口先生に「サッカー部で勉強させてください」と相談し、スタッフとして入れていただくことになりました。

それから大学4年生までお世話になり、その4年の間には、愛知県大会を優勝、全国高校サッカー選手権に創部以来初の出場など、貴重な経験をさせていただきました。



2019年の愛知県大会初優勝

常に、もっと応援してもらおうにはどうしたらいいだろうか、選手に今以上サポ

ートするには何ができるだろうかとか考え、また考えたことを受け入れていただける素敵な環境にいたことに改めて選手、スタッフ含めて名電サッカー部で良かったと思っています。



優勝カップを持つ山下さん

小さい頃からの夢と高校サッカーに出会い、さらにサッカーの仕事に就きたいという思いが強くなり、大学卒業後は、(公財)愛知県サッカー協会に就職しました。

愛知県からさらにサッカーを普及させていくために、誰でもサッカーができるような環境を整え、小さいころからサッカーボールに触れ合うことができる機会を作っていききたいと考えています。

また、昨年大いに沸いたカタールW杯シーズンのように、愛知県のサッカーをもっと盛り上げていきたいと思っています。

野球部

【夏の甲子園 8強】

愛工大名電高等学校の野球部が、第104回全国高校野球選手権大会で41年ぶりとなる8強入りを果たしました。新たな伝統になった「超攻撃野球」に磨きをかけて並み居る強豪を連破。夏の甲子園で工藤公康投手を擁して4強入りした1981年に次ぐ大きな3勝を挙げました。

今夏の愛知大会の参加校は全国最多の175チーム。決勝戦では東邦高校と一進一退の展開となりましたが、7・4で勝利。激戦区愛知の頂点に立ち、2年連続で甲子園出場を決めました。



東邦に勝利し甲子園出場を決めた愛工大名電ナイン (7月30日付 中日新聞号外から)

大会初戦は、名門校同士の対決と注目された星稜。序盤から打線が爆発。15安打14得点で14・2と大勝しました。2回戦の八戸学院光星は、延長10回、接戦をものにし、6・5でサヨナラ勝ち。

明豊との3回戦は、3試合連続2

桁安打となる12安打を放ち、5・2で勝って準々決勝に弾みをつけました。そして、仙台育英との試合は、序盤から防戦を強いられ、最後は相手の堅い守りに阻まれましたが、選手たちに球場全体から大きな拍手が送られました。

選手たちには、どこにも負けない練習量と、データ解析を導入しての科学的トレーニング、そこから生まれる自信がありました。そして、大会直前に急逝したチームメイトの名を重ねた「勝ち登れ、頂点に」の言葉を胸に、好プレーの都度、語りかけるように空を見上げました。自らの持ち場でベストを尽くし、仲間同士の信頼に裏付けされた名電らしいプレーが連続しました。友との絆を力に変えたチームワークの勝利でした。

【文責 広報委員会】



甲子園球場のアルプスタンドから応援する学生や父母、OB

卓球部

【インターハイ卓球6連覇！単・複・団体完全制覇(2年連続)！
主将・鈴木は高校3冠！】

高校卓球部が、今夏の第91回全国高等学校卓球選手権大会(インターハイ)で6大会連続20回目の優勝を勝ち取りました。さらに個人種目の



インターハイ6連覇を遂げた高校卓球部 (写真はニッタクニュース提供)

啓至(2年)がストレート勝ちを収め、王手をかけました。同時進行で行われた4番と5番は、5番の中村煌和(2年)が先に勝って勝利を確定させ、4番の鈴木颯も強敵を退けて6連覇を飾りました。

個人戦も、シングルス8強のうち本校が5人、野田学園が3人と、ライバル同士でのぎを削りました。決勝は、鈴木颯と吉山僚一の名電3年生対決になり、鈴木がフルゲームの激戦を制して初優勝しました。

個人戦ダブルスの決勝は、鈴木颯・萩原啓至が野田学園ペアと対戦。先にゲームカウントに王手をかけられましたが、ここから流れを引き寄せ、2ゲームを取り返し、最終ゲームも11・6で制し大逆転で初優勝をつかみました。

【文責 広報委員会】

シングルスとダブルスでも優勝し、インターハイ完全制覇(2年連続)を達成しました。主将の鈴木颯(3年)は、昨年の谷垣佑真(現・愛知工業大1年)に続き、2年連続となる全種目優勝(高校3冠)を成し遂げました。

学校対抗の決勝は、3大会連続で野田学園(山口県)との対決に。1番の坂井雄飛(1年)が相手エースに敗れたものの、2番の吉山僚一(3年)、3番ダブルスの鈴木颯・萩原



高校3冠の鈴木颯 (写真はニッタクニュース提供)

吹奏楽部

【涙の金賞受賞】

2022年10月23日吹奏楽コンクール全国大会、名古屋国際会議場セントリウムホールの本番前のチューニングルーム。強豪校が犇めき合い緊張気味のメンバーに、部長が檄を飛ばした。「最後の演奏だよ。みんなで楽しもう!!」意気揚々と笑顔でステージに上がった。喜びに満ち心を一つにしてみんなが音楽を奏でた。個々が躍動した夢のような12分間であった。劇的演奏に客席は大喝采、まさに会心の一撃であった。演奏後皆感動で泣いていた。



会心の演奏で聴衆を魅了した全国大会

現在、部員は190人。練習量は短く毎日3.5時間、午後6時半には終了する。全国常連校では異例だ。その方針はリーダーを中心とした「自主運営」「仲間との絆」から生まれる自治力の高さで、全国一とも言われる。

3年ぶりに行われた表彰式。前半出場15校のうち金賞は4校。「生徒

の努力が報いられるように」と願い舞台に立っていた。その時はきた。

「出演順 14番 愛知工業大学名電高校 ゴールド金賞!!!」部長も副部長も、目にいっぱい涙をためていた。競争するために音楽をしているのではないとはいえ、名電の「絆」吹奏楽が「金賞」と評価されたことは本当に嬉しかった。生徒たちも、抱き合って喜びを分かち合っていた。

全国最多44回目の出場も、金賞は8年振り。こんな素晴らしいチームを支えてくれている、学校・学園・保護者に感謝、感謝である。

【吹奏楽部 顧問 伊藤宏樹】

ザ・名電ショー2022

12月17日に名古屋国際会議場にて開催された「ザ・名電ショー」は、吹奏楽部、チアリーディング部、ダンス部、情報デザイン部が合同でパフォーマンスする初めて開催されたイベントでした。どの部も全国レベルで素晴らしい発表でした。

一般のお客様も入場できましたので、来年以降の開催にも期待したいと思えます。



チアリーディング部

令和4年度卒業のクラス幹事

※印は代表幹事

【科学技術科】

- A組 高橋開人・徳井 遥
- B組 伊藤広大・加藤聖空
- C組 加藤正太郎・木村莉那
- D組 後藤一輝・田原晴斗

【情報科学科】

- A組 酒井健太郎・尾藤 健

【普通科】

- A組※ 野村夢叶・堀町美羽
- B組 加藤 涼・山本真緒
- C組 林 晃太郎・宮田真生
- D組 高祖結愛・豊田 蘭
- E組 青山純也・伊吉隆之輔
- F組 安藤瑠希也・江崎相太
- G組 磯部隆太郎・村瀬 蓮
- H組 蛭原裕貴・加藤瑚々奈
- I組 有賀爽玲・松原海成
- J組 島倉 渉・杉山登風
- K組 長谷川乃愛・山田ひなた
- L組 一江真希・竹内雅人
- M組 坂下理乙・大谷成史
- N組 神谷法葉・住田健斗

令和4年度役員総会開催

令和4年度役員総会は6月24日に名古屋市内のホテルにて開催されました。後藤理事長（同窓会名誉会長）、永井会長、荻原校長をはじめ、役員

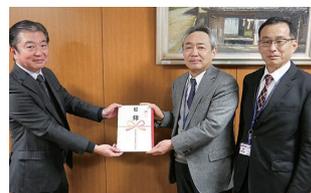


議案の審議の他、各クラブのOBより活動報告も

総数40名（欠席12名）が3年振りに顔を合わせました。令和4年度の事業報告及び収支決算が報告され、承認されました。また令和5年度の事業計画（案）及び、収支予算（案）について審議し、承認され閉会となりました。

◎同窓会からお祝い◎

学園創立110周年記念（トレーニング機器一式、ティンパニ二セット寄贈）、及び令和4年度、全国大会に出場の各クラブに対して、同窓会より激励とお祝いをしました。野球部、卓球部、フェンシング部、バレーボール部、相撲部、ウエイトリフティング部、陸上競技部、ボウリング部、チアリーディング部、水泳競技部、ダンス部、ゴルフ部、将棋部、競技かるた部、メディアコミュニケーション部、スキー部、メカニカルーツ部、吹奏楽部



トレーニング機器、ティンパニの目録を贈呈

【情報提供のお願い】

同窓会だよりでは、活躍、奮闘する同窓生を紹介しています。自薦、他薦は問いませんので、皆様の情報提供をお待ちしております。

—お問い合わせ先—

メール:dousoukai@meiden.ed.jp
電話:052-721-0311

荻原哲哉校長の学校報告



荻原哲哉校長

同窓会の皆様には、日ご... 別のご理解と多大なるご支... 援をいただきます、誠にありが... とうございます。とりわけ... 今年度は学園創立110周... 年を記念して、ウエイトト... レーニング機器一式及び、... ティンパニーセットを本校... にご寄贈いただきました。... 心より御礼を申し上げます。

「生徒たちの中に生きる、伝統の力」

フエンシング部は団体女子... 準優勝、バレーボール部... も強豪ひしめく、3回戦... まで勝ち進みました。... 同江夏、海をはさんだ甲... 子園では、同窓会の皆様... も熱く熱く応援をいただ... た野球部の大活躍があり... ました。序盤からの猛攻あり、... 劣勢からの逆転あり、個性... 豊かな選手たちが人差し指... を上空に掲げ一つになつて... 勝利を目指す姿が感動を呼... びました。アルプス席での... 吹奏楽部とチアリーディン... グ部を中心とした一体とな... った応援もみごとで、とて... も誇らしく感じました。

秋以降も生徒たちのめざ... ましい活躍は続きました。... 吹奏楽部が全日本コンク... ールで金賞、マーチングコ... ンテस्टで銀賞を獲得。バ... レーボール部は春高バレー... に3年ぶりに出場を果たし... ました。また、サッカー部... が選手権大会で県大会準決... 勝まで勝ち進み、延長の末... 優勝校に敗れたものの、校... 内が大いに盛り上がりまし... た。... 今春卒業した生徒たちは、... 3年前、入学式翌日からの... 2か月にわたる長期休業を... 経験した学年で、楽しみに

高校PTAから 「寄り添う活動」 同窓会会員の皆様には、... 喜び申し上げます。令和4... 年度PTA会長を務めさせ... ていただいております宇野... 希史子と申します。... 今年度は長引く新型コロナ... ナウイルスの影響で2年間... 書面決議を余儀なくされた... PTA総会を集会形式で開... 催、授業参観や愛工大見学... 会も3年ぶりに開催するこ... とができ、大変多くの保護... 者の方に参加していただき... ました。文化祭では「みん... なでみんなを元気にしよ... う」をコンセプトに『ME... IDENエールの木』を企... 画させていただき、生徒や... 先生方が書いて下さった大... 切な人へのメッセージカー... ドで、エールの木に満開の... 花を咲かせることができました。... 学年ごとに半日日程... で開催された体育祭は、感... 染対策をしながら保護者の... 参観の機会をいただき、間

高校PTAから 「寄り添う活動」 宇野希史子 高校PTA会長



近で生徒たちの迫力ある走... りや楽しんでる様子を拝... 見することができたことは... 嬉しい思い出となりました。... 入学と同時にコロナの影... 響を受け、3年間思うよう... な活動ができなかった中で、... 41年ぶりに甲子園ベスト8... を成し遂げた野球部をはじ... め、全ての部が制限の多い... 環境と不安の中で活動を続... け、数多くの部活動が全国... 大会への切符を掴みとりま... した。子どもたちの頑張り... はとても誇らしく、たくさ... んの元氣と感動をくれたこ... とに感謝の気持ちで一杯で... す。... コロナ禍による社会の変... 化とともに教育現場や学校... 行事も変化している今、学... 校や生徒に寄り添えるPT... Aでありたいと感じた一年... でありました。その時々の... 状況に応じていつも最善を... 尽くして下さる先生方、様... 々な形で支えて下さる同窓... 会の皆様には心より感謝申... し上げるとともに、今後も... 一緒に見守り支えていきたく... と思っていますので、ご... 支援のほどよろしくお願... い致します。